

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.170

2019. 12. 2

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

私たちの平和への誓い ～戦争や戦争につながる事を 私たちの手で断とう！～

1941年（昭和16年）12月8日、日本の真珠湾攻撃で3年6か月に及ぶ太平洋戦争が勃発しました。この12月は、戦争、敗戦の教訓を改めて噛みしめる時です。今年も、これからを担う若い世代が、全国で行われている平和関連の企画や集会に参加しています。平和への思いを新たにしたい若者たちのメッセージを紹介します。

《広島で学んだ平和を伝えていきたい》

私は、8月5日から8日に開催された「Peace Now! Hiroshima2019」に参加してきました。このセミナーは4日間を通して、戦争がもたらした広島での出来事をフィールドワークや被爆者の方から直接体験談を伺うなどの様々な活動を通して、平和への思いを考える場でした。

東北出身の私には知らない事ばかりで、原爆投下当時の広島を知るたびに胸が苦しくなりました。同時に広島の復興に尽力したのは日本人だけではなく、海外の方の支援もあった事実を知りました。

今回のセミナーで感じたことは、平和や戦争への思いは国境を越えた人々が共通して持っていることだということです。他にも印象に残ったことは多く、全ては語り尽くせません。今回の貴重な経験に感謝し、身近に考える事のない平和について多くの人に考えてもらえるよう「平和」を伝えていきたいと思いました。

（盛岡大学文学部1年 三田彩美弓）



《平和に対して自分の意見を持ち、発信していかなければ》



私も、広島で開催された「Peace Now! Hiroshima 2019」に参加してきました。

実際の被爆地で碑巡りや資料館の見学、式典への参加、被爆者の講話を聞くなどし、そこから他の参加者と平和について話し合い、様々なことを考えました。本当にその地で原爆が落とされたということ、歩いている地面の下には当時のものがまだ埋まっていること、74年たった今でも苦しんでいる被爆者の方がいることなどを身をもって体感しました。想像でしかなかったことが、自分事として捉えられ、悲慘さや悲しみ、恐怖を感じました。

また、被爆者講話や被爆者が書いた絵や手記を見ることで、追体験ができ、もうこのようなことが二度と起きてはならないと思いました。そのために私たちが自分の意見を持ち、発信していかなければならないと考えました。

（岩手大学理工学部2年 三輪音葉）

「安倍9条改憲NO！憲法をいかに全国統一署名」

岩手の3,000万署名数は17万7千筆（11月末現在）

署名ハガキの返信は、487通・1,479筆に

「生々しい沖縄戦体験記を朗読」～平泉・9条の会講演開催～

「沖縄戦について学ぶ～祖母から孫への手記～」を11月2日、平泉町役場で開催しました。講師は、沖縄県出身の阿部敬子さん（奥州市前沢）。阿部さんの母・与那嶺光子さんが、孫に当たる阿部さんの長女のために記した体験記「祖母から孫への手記～沖縄戦体験記」を朗読しました。阿部さんは、当時小学生だった娘のために母が記した手記を、多くの子どもたち

ちに知ってもらおうと、2015年から毎年前沢小学校で朗読する活動を続けています。

その後、戦火の中を逃げ惑った体験では、自身が軍の手伝いのために別れた体の弱い父を亡くしたこと、終戦を知らず米兵から逃げていた当時の生々しい様子が語りました。

お話しが終わってから阿部さん手作りの沖縄の菓子「サーターアンダギー」をいただきながら、沖縄の基地問題などについて意見交換を行いました。（遠藤セツ子）



お知らせ

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション岩手の会」学習集会開催！

2020年2月16日(日) 13:30～15:30(開場13:00)

「県民会館 中ホール」

講師：浅倉むつ子氏（「九条の会」世話人。早稲田大学名誉教授）

※終了後、アピール行進あり。

◇この日の午前中に、同会場で「平和憲法・9条をまもる岩手の会交流会」を開催予定。午後の分も含め詳細が決まり次第、またお知らせします。



「安倍首相、通算在職最長に桂太郎に並び 2886 日」と滑らかに報道、で良いのかな？

私たち九条の会は、「憲法九条を守れ！」と日夜努力しています。人だかりのする「市日」があれば、そこへ出かけて行って「憲法九条を守らせましょう！」と署名を呼び掛けています。これは日本国憲法に基づく国造り、社会づくりの一環でもあります。

その時の19日に「安倍首相、通算在職最長に、桂太郎に並び 2886 日」と何の蟠りもなく報道、国民の中からも明確に「それは違う！」と発声も見られず、「九条の会」の活動をしている者にとっては本当にこれで良いのかと思われまふ。桂太郎氏に加えて「初代内閣総理大臣伊藤博文」とまで付け加えて報道。安倍晋三氏も「内閣総理大臣」。桂太郎、伊藤博文、安倍晋三の各氏、同じ「内閣総理大臣」かな？とコラム子は言いたいのですが、これは下司の勘繰りですかね。

しかし、考えてみれば桂太郎、伊藤博文は「大日本国憲法」下の「内閣総理大臣」であり、安倍晋三氏は「日本国憲法」下の「内閣総理大臣」です。その原理は根本的に違う筈。かたや桂らは「天皇主権」下の「内閣総理大臣」、安倍氏は「主権在民」下の「内閣総理大臣」！戦前と戦後を同じに考えてはいけけないのではないのでしょうか。

安倍首相の「戦前回帰」の改憲ムード作りに巻き込まれないよう、声を挙げる必要があると思います。（T）

《12月の署名活動》 9日(月)12:15～12:45 盛岡市大通・野村證券前

改憲に多くの国民が反対の声を上げている中、安倍首相は改憲論議を進めようとしています。引き続き 3,000 万署名を呼びかけますので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。